

2017年7月20日 五年を経て

民事裁判は、提訴して4年を迎えました。

現在、和解協議が続いている状況です。

事実解明の中で、責任の所在を明確にするということは、事故の再発防止と同様、とても重要な事だと理解しています。

再発防止のためにできることをする、これは、特別なことではなく、当たり前の事です。

この5年間、様々な問題、課題、現状が明らかになりました。

自分自身の中にある複雑な思いや感情を正直に受止め、

ひとつずつ整理をしながら

これからも、全ての事実と誠実に向き合いたいと思います。

慎之介が亡くなって5年

日々、悲しみは深まります。

そして、慎之介はもういないという現実の中で生きることが

どうしたことなのか、立ち止まって考える時間が増えてきました。

前を向くだけでなく、恐れずに振り返り、変わらない事実と向きあう事は、

とても大切に尊いことだと理解しています。

2011年9月。

瀬戸内海の豊島を訪れた時、

慎之介の心音を録音しました。

聴診器を胸にあてて、パソコンで録音するというものなのですが

しんちゃんは、くすぐったいとニコニコ笑っていました。

少しだけ、くすつと笑い声が入って、

しんちゃんらしい音をのこすことができました。

今も、世界中の人々と一緒に自分の音を鳴らしています。

CHRITIAN BOLTANSKI

Les Archives du Coeur

No 0 5 7 1 9

YOSHIKAWA SHINNOSUKE



慎之介が生きていた時間に思いを馳せて。



2017年（平成28年）7月20日 吉川優子